



保育ミーティングにご参加くださりありがとうございました。保護者の方々のお話はとても興味深く、もっと一緒にお話をしたいと感じました。これからも保護者の皆様と子どもたちと共に育っていききたいと感じました。

9月の保育より



カブトムシの赤ちゃんのその後

8月始め、カブトムシの卵を発見しみんなで観察しました。9月始め、飼育箱の側面の幼虫を見つけた子が「幼虫が大きくなってる」と叫ぶとみんなが寄ってきました。子ども達はそれを見て「また、お掃除してあげようよ。」「そうしよう。」「と言ったと同時にバタバタと走り出し新聞紙を持ってきて広げ始めました。以前新聞紙の上に飼育箱の土を空けてカブトムシの成長を見たり、お世話をしたりという経験が何度かあったので、きっと同じようにしてあげたいと思ったのでしょう。幼虫は全部で7匹いました。「大きくなっている」「餌あげなくちゃね」とゼリーを取り出す子に「ゼリーはまだだよ(食べない)」と教えている子もいました。(素晴らしい!)その後ペットボトルでカブトムシを作ったり、えさをたくさん作ったりした子もいたり、時々側面に姿を現すカブトムシに興味をもちながら過ごしている子どもたちの姿に成長と実体験のすばらしさを感じている毎日です。

子どもたちはミュージカルスター

つばめの子どもたちはごっこ遊びが大好き。釣り&バーベキューごっこ、病院ごっこをしていたかと思うと急に猫、3匹のやぎガラガラドンや恐竜になり切って遊びだします。一人一人違う遊びをしていますが、いつの間にかクラスみんなで関わってごっこ遊びをしているということもあります。

ある日「アナ雪」の歌を歌っていた子がいたのでCDをかけてみると次々に歌って踊ってセリフを言って、ミュージカルが始まりました。そして「エルサの家が欲しい」「ドレスも欲しい」と次々とイメージを実現しようと「こんな風に作りたい」と遊びが展開されました。映像を見たことがない子も家で「DVDを見たい!」とお願いしたほどでした。

イメージを共有しながらエルサや恐竜、馬娘になり歌って踊って楽しんで、つばめ組のごっこ遊びは毎日続いています。この楽しい遊びの様子を保護者の方にも見ていただきたいです。

- | |
|--|
| <p>11月の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを知る。 ○身近な秋の自然にふれて親しむ。 |
|--|

10月の保育において

室内遊びも好きだけれど、つばめ組は戸外遊びも大好きです。戸外で体を動かして遊ぶことが心地よい時期です。体を動かして遊ぶ楽しさが十分味わえるようにしていきます。

運動会ってなあに?



3歳児にとって初めての運動会、なかなかどんなものか想像しづらいと思います。種目については、1から話し合いて創り出していくことは難しいので、毎日の生活の中でいろいろと遊びを提案しみんなで楽しみながらみんなで選んでいきたいと思っています。当日は会場の皆さんとふれあい、心を合わせながら体を動かすことの楽しさを感じられる運動会にしていきたいです。ぜひ、ご家族の皆さんも一緒に楽しんでください。ご協力をお願いいたします。

話すこと、聴くこと、共感すること



子どもは、経験したことを嬉しそうに話してくれます。その子の気持ちに共感したり、成長を認めたりしていくと、人と話すことが楽しくなり、自分に自信がもてるようになります。そして、自己発揮にも繋がります。また、受け入れてもらった経験は人を受け入れるという力にも繋がっていきます。少しずつ場を設け、皆の前で話をする、人の話を聴くこと、皆で考えることや喜びあうことの経験を大切にしていきたいと思っています。